

令和 6 年度 ウェルネス推進 プロモーション 業務

仕 様 書

1 業務の名称

令和 6 年度 ウェルネス推進 プロモーション 業務

2 業務の目的

人生 100 年時代として高齢化が進む中、健康寿命が政令市でも低位にある札幌市において、健康増進は、より一層重要な課題となっており、今後 10 年のまちづくりの指針である、第 2 次札幌市まちづくり戦略ビジョンにおいて、「ウェルネス」を重要概念の一つとして設定したところであり、今後、ウェルネス推進の重要性や取組について、市民に広く周知する必要がある。

令和 5 年度に実施した「札幌市民の実態を把握する健康意識 W E B 調査」において、本市在住の 20～69 歳の男女に健康についての意識調査を行ったところ、健康に関する情報源は性別や年齢、ライフスタイルなどによって異なることや、テレビや新聞記事などの各メディアに加えて、企業や個人の SNS も主要な情報源となっていることが分かっており、多様な媒体の中からターゲットに合わせたプロモーションを行うとともに、企業等のリソースも活用しながら官民の取組を一連のものとして効果的に周知していくことが重要であると推察される。

本業務は、こうした背景を踏まえて、官民連携の枠組みである「さっぽろウェルネス推進会議」※を活用しながら、「ウェルネス」に関する話題がメディアに取り上げられやすい環境を創出し、関連する取組の一体的なプロモーションを実施することで、市民の行動変容を促すことを目的とする。

《さっぽろウェルネス推進会議について》

身体的・精神的・社会的な様々な要素が関係する「ウェルネス」の推進に向けて、産学官が連携し、互いの取組や知見を共有するとともにネットワークを広げる場として立ち上げた会議であり、企業、プロスポーツチーム、関係団体、有識者が参加している。現時点での参画企業は、別添 1 のとおり。

3 契約履行期間

契約締結日から令和7年3月20日（月）までとする。

4 業務の内容

受託者は、「2 業務の目的」を達成できるよう、下記のとおり、業務を実施すること。詳細の業務内容は企画提案の結果を受けて、札幌市（以下「委託者」という。）と受託者で協議し、調整するものとする。

また、受託者は、下記項目に係る一切（企画、制作、運営、連絡調整及び費用の支払い等）を業務範囲として行うものとする。

(1) プロモーション戦略の提案

「ウェルネス」のキャッチフレーズ（ウェルネス何スル？～カラダにイイこと、もう一歩～）や、年間想定取組スケジュール（別紙1のとおり）、札幌市公式アプリ（さっぽろスマート圏アプリ、概要は別添2のとおり）などの既存情報発信ツールを踏まえて、ウェルネス推進のための発信戦略を委託者に対して提案すること。

(2) 市民やメディアのニーズに対応した広報企画の実施

- ・ 上記(1)のプロモーション戦略を踏まえ、市民・メディアのニーズに対応した広報企画（SNS活用、番組・動画制作等）を実施すること。
- ・ 特定層（働く世代や健康への無関心層など）に対しては生活に取り入れやすいようにテーマ性を持たせるなど、波及効果の見込める仕掛けを行うこと。
- ・ 特に9・10月の重点取組期間（健康づくり促進期間）において、各メディアにおいて露出増が期待できる企画を提案し、実施すること。

(3) メディアへの個別取材誘致活動

- ・ 「ウェルネス」に関する取組について、パブリシティを促進するため、新聞、テレビ、通信社、雑誌、Webメディア、ラジオ等のメディアに対して、以下のような個別取材誘致活動を実施し、露出を獲得すること。

① 番組及び記事の獲得に向けた企画提案（随時）

各メディアや市民が求めるニーズをリサーチしたうえで、その内容に応じた取材提案シート等を作成し、各メディアに提案を行うこと。

② メディアへのダイレクトアプローチ（随時）

テレビ局、番組制作会社、出版社、Webサイト運営者の制作担当者などを通

して個別に取材誘致を行い、露出を獲得すること。

(4) 企業と連携した広報企画の実施

- ・ ウェルネス推進会議参画企業を中心に、関係企業が有するリソース（広報媒体や施設、コネクション等）を効果的に活用し、本事業の費用対効果を高める広報企画を提案し、実施すること。
- ・ 受託者と協力企業に留まらず、協力企業同士の連携についても積極的に検討すること。なお、協力企業同士の円滑な連携に向けて、委託者と協議しながら、必要な調整を受託者が実施すること。

(5) 目標とする露出機会の創出

(2)～(4)を通じて、受託期間内に創出する露出機会（周知範囲、長さ、回数など）の見込みを、提案時点での実現性と合わせて提示すること。

(6) 効果測定

パブリシティ活動及びメディアでの発信活動による効果を測定するため、以下について実施し、電子データ（露出した映像、画像含む）で報告すること。

ア 委託期間中の各種媒体における露出調査及び広告効果額の算定

イ 露出に至った記事等のクリッピング

ウ 活動を通じて得られたデータ（メディアのニーズなど）の蓄積及び分析

5 定期的な打ち合わせ

本業務の活動状況や成果等について本市と情報共有するため、定期的に進捗報告、打ち合わせを行うこと（月1回以上）。

6 権利関係

- (1) 業務の履行にあたり、疑義が生じた場合は、委託者及び受託者双方の協議により処理する。
- (2) この仕様に定めのない事項は、委託者及び受託者で協議の上、決定すること。
- (3) 受託者は関係法令を遵守し、誠実に業務を遂行すること。
- (4) 委託者又は委託者の関係者から提供を受けた資料等は、本業務にのみ使用するものとする。ただし、第三者に提供する場合であらかじめ委託者の承諾を得たものについては、この限りではない。

- (5) 本業務の遂行にあたり、必要がある場合は相互調整のため打ち合わせを行うものとする。
- (6) 本業務の遂行に伴う打ち合わせ、資料、計画等の内容については、外部に漏洩しないこと。なお、本契約が終了し、また解除された後においても同様とする。
- (7) 受託者は、本業務の遂行にあたり、第三者の著作権、著作者人格権及びその他特許権、商標権を含むいかなる知的財産権、プライバシー又は肖像権・パブリシティ権その他の権利を侵害しないことを保証すること。第三者から成果物に関して権利侵害の訴えその他の紛争が生じたときは、受託者の費用および責任において解決するものとし、かつ札幌市に何らかの損害を与えたときは、その損害を賠償するものとする。
- (8) 受託者は、成果物の納入、検査合格後、本業務の成果物に関連する著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）を、直ちに無償で委託者に譲渡するものとする。委託者は、著作権法第 20 条（同一性保持権）第 2 項に該当しない場合においても、その使用のために目的物の改変を行うことができるものとする。
- (9) 受託者は、成果物に関する著作者人格権を、札幌市または札幌市が指定する第三者に対して行使しないものとする。
- 7 受託者は、本業務を履行するにあたって、個人情報を取り扱う場合は、「個人情報の保護に関する法律」及び「個人情報取扱安全管理基準（別紙 2）」を遵守するとともに、個人情報の取扱状況について委託者に報告すること。なお、詳細については、別途指示することとする。
- 8 環境への配慮について
- 本業務においては、委託者が運用する環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷低減に努めること。
- (1) 電気、水道、油、ガス等の使用にあたっては、極力節約に努めること。
- (2) ごみ減量及びリサイクルに努めること。
- (3) レスペーパーを徹底するなど、紙の使用量を減らすように努めること。
- (4) 自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心がけること。

- (5) 業務に係る用品等は、札幌市グリーン購入ガイドラインに従い、極力ガイドライン指定品を使用すること。

9 その他

- (1) 制作物のデザインや配色については、札幌市が作成した「広報に関する色のガイドライン」(<https://www.city.sapporo.jp/koho/color/>)を参照し、誰にとっても見やすく、分かりやすいデザインとなるよう配慮すること。
- (2) 本仕様書に定める事項のほか、札幌市契約規則及び関係法令を遵守すること。

10 本件に係る問い合わせ先

札幌市保健福祉局ウェルネス推進部ウェルネス推進課 増川・森

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE 札幌ビル 7F

電話：011-211-3511 FAX：011-211-3521



【別紙 2】

個人情報取扱安全管理基準

1 個人情報の取扱いに関する基本方針、規程及び取扱手順の策定

個人情報の適正な取扱いの確保について基本方針を策定していること。

また、以下の内容を記載した個人情報の保護に関する規程及び個人情報の取扱手順等が定められていること。

- (1) 組織的安全管理措置
- (2) 人的安全管理措置
- (3) 物理的安全管理措置
- (4) 技術的安全管理措置

※ 上記(1)～(4)の具体的内容については、個人情報保護委員会ホームページ

(<https://www.ppc.go.jp>)に掲載されている「個人情報の保護に関する法律についての事務対応ガイド（行政機関等向け）」の「4－3－1」の「安全管理措置（法第66条）」を御確認ください。

2 個人情報の取扱いに関する総括保護管理者及び保護管理者の設置

個人情報の取扱いに関する総括保護管理者及び保護管理者が定められており、基本方針、規程及び個人情報の取扱手順等に明記されていること。

3 従業員の指定、教育及び監督

- (1) 個人情報の秘密保持に関する事項が就業規則等に明記されていること。
- (2) 個人情報を取り扱う従業員を指定すること。
- (3) 個人情報の取扱い、情報システムの運用・管理・セキュリティ対策及びサイバーセキュリティの研修計画を策定し、従業員に対し毎年1回以上研修等を実施していること。また、個人情報を取り扱う従業員は、必ず1回以上研修等を受講している者としていること。
- (4) 総括保護管理者及び保護管理者は、従業員に対して必要かつ適切な監督を行うこと。

4 管理区域の設定及び安全管理措置の実施

- (1) 個人情報を取り扱う管理区域を明確にし、当該区域に壁又は間仕切り等を設置すること。

【管理区域の例】

- ・ サーバ等の重要な情報システムを管理する区域
- ・ 個人情報を保管する区域
- ・ その他個人情報を取り扱う事務を実施する区域

- (2) (1)で設定した管理区域について入室する権限を有する従業者を定めること。

また、入室に当たっては、用件の確認、入退室の記録、部外者についての識別化及び部外者が入室する場合は、管理者の立会い等の措置を講ずること。さらに、入退室の記録を保管していること。

- (3) (1)で設定した管理区域について入室に係る認証機能を設定し、パスワード等の管理に関する定めを整備及びパスワード等の読取防止等を行うために必要な措置を講ずること。

- (4) 外部からの不正な侵入に備え、施錠装置、警報措置及び監視装置の設置等の措置を講ずること。

- (5) 管理区域では、許可された電子媒体又は機器等以外のものについて使用の制限等の必要な措置を講ずること。

5 セキュリティ強化のための管理策

情報資産の盗難、紛失、持出し、複写・複製、目的外の使用及び第三者への提供を防止するため以下の対策を実施していること。

- (1) 個人情報の取扱いに使用する電子計算機等は、他のコンピュータと接続しない単独による設置又は当該業務に必要な機器のみと接続していること。また、インターネット及び当該業務を実施する施設外に接続するイントラネット等の他のネットワークに接続していないこと。ただし、本市の許可を得た場合はこの限りでない。
- (2) 個人情報の取扱いにおいてサーバを使用している場合は、当該業務を実施する施設内に設置していること。また、サーバへのアクセス権限を有する従業者を定めること。さらに、部外者のアクセスは必要最小限とし、管理者の立会い等の措置を講ずること。ただし、本市の許可を得た場合はこの限りでない。

- (3) 個人情報の取扱いにおいて使用する電子計算機等は、アクセス権等を設定し、使用できる従業者を限定すること。また、アクセスログやログイン実績等から従業者の利用状況を記録し、保管していること。
- (4) 記録機能を有する機器の電子計算機等への接続制限について必要な措置を講ずること。
- (5) 本市が貸与する文書、電子媒体及び業務にて作成した電子データを取り扱う従業者を定めること。
- (6) 業務にて作成した電子データを保存するときは、暗号化又はパスワードにより秘匿すること。また、保存した電子データにアクセスできる従業者を限定するとともにアクセスログ等から従業者の利用状況を記録し、契約期間終了後、1年以上保管していること。
- (7) 本市が貸与する文書及び電子媒体は、施錠できる耐火金庫及び耐火キャビネット等にて保管すること。また、書類の持ち出し記録等を作成していること。
- (8) 個人情報の取扱いにおいて使用する電子計算機は、従業者が正当なアクセス権を有する者であることをユーザ ID、パスワード、磁気・IC カード又は生体情報等のいずれかにより識別し、認証していること。
- (9) 個人情報の取扱いにおいて使用する電子計算機は、セキュリティ対策ソフトウェア等（ウィルス対策ソフトウェア等）を導入していること。
- (10) 業務にて作成した電子データを削除した場合は、削除した記録を作成していること。また、削除したことについて証明書等により確認できる措置を講ずること。
- (11) 個人情報の取扱いにおいて使用する電子計算機等を廃棄する場合は、専用のデータ削除ソフトウェアの利用又は物理的な破壊等により、復元不可能な手段を採用すること。
- (12) 本市の許可なく第三者に委託しないこと。

6 事件・事故における報告連絡体制

- (1) 従業者が取扱規程等に違反している事実又は兆候を把握した場合の管理者への報告連絡体制を整備していること。
- (2) 情報の漏えい、滅失又は毀損等事案の発生又は兆候を把握した場合の従業者から管理者等への報告連絡体制を整備していること。

(3) 情報の漏えい、滅失又は毀損等事案が発生した際の本市及び関連団体への報告連絡体制を整備していること。併せて、事実関係の調査、原因の究明及び再発防止策の検討並びに決定等に係る体制及び手順等を整備していること。

7 情報資産の搬送及び持ち運ぶ際の保護体制

本市が貸与する文書、電子媒体及び左記書類等に基づき作成される電子データを持ち運ぶ場合は、施錠した搬送容器を使用すること。また、暗号化、パスワードによる保護、追跡可能な移送手段等により、破損、紛失、盗難等のないよう十分に配慮していること。

8 関係法令の遵守

個人情報の保護に係る関係法令を遵守するために、必要な体制を備えていること。

9 定期監査の実施

個人情報の管理の状況について、定期的に、及び必要に応じ、随時に点検、内部監査及び外部監査を実施すること。

10 個人情報取扱状況報告書の提出

本市の求めに応じ、又は当該業務契約に基づき、各月の期間ごとの役務完了の書面提出時において、本市が指定する様式にて個人情報取扱状況報告書を提出すること。

11 情報セキュリティマネジメントシステム（以下「ISMS」という。）又はプライバシーマーク等の規格認証

ISMS（国際標準規格 ISO/IEC27001:2013、日本工業規格 JISQ27001:2014）、プライバシーマーク（日本工業規格 JISQ15001:2006）等の規格認証を受けていること。

連携企業情報シート（令和6年3月13日現在）

（50音順、会議欠席企業を含む）

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	札幌支店	アクサ生命保険株式会社	札幌営業所
高齢化社会が進展する中で健康寿命の延伸は人・社会・企業にとって重要なテーマと捉え、社会的課題解決に取り組む商品・サービスを提供しています。 ・保険とAIを活用した従業員の運動・睡眠・食事などの行動変容を促すアプリ「Myからだ予想」を組み合わせた「健康経営支援保険」のご提供 ・テレマティクス自動車保険で展開する脳トレは、高齢者の運転寿命延伸に繋がり、外出機会の増加による健康増進・地域社会の活性化へ寄与		健康経営支援プログラムを積極的に取り組んでいます。 ①健康経営優良認定申請サポート ②ブライト500認定取得サポート ③健康習慣アンケート&フィードバックの実施 ④健康経営セミナーの実施 ⑤健康経営サポートパッケージ	
 あいおいニッセイ同和損保	当社グループ企業のコンサルティング会社を活用した健康経営取組課題に対するアドバイスや情報のご提供 ・健康経営にこれから取り組む企業さまや、個別課題を改善したい企業さまに対する「健康経営支援サービス」や「健康経営取組診断」のご提供 ・スポーツによる健康増進・地域活性化のサポート		大塚製薬・札幌市・全国健康保険協会との協業オンラインセミナーの実施（6月13日） 「仕事のパフォーマンスと食事の話」 講師：フォルティウス 船山 弓枝 氏

株式会社アシックス	ヘルスケア営業部	アフラック生命保険株式会社	札幌総合支社
当社は、「スポーツで培った知的技術により、質の高いライフスタイルを創造する」をビジョンとして掲げ、「健康快適」を事業領域のひとつとして設定しています。 高齢化社会や健康に関する意識が高まる中、企業の健康度を数値化し健康増進をサポートする「アシックスヘルスケアチェック/ASICS HEALTH CARE CHECK」を展開、当社の研究所がもつ「人に対する測定・分析技術、運動プログラムに対する豊富な知見」を最大限活用し、人々の健康を総合的にサポートするサービスを主に企業や自治体に向け実施しています。		当社は、「がんに苦しむ人々を経済的苦難から救いたい」という日米両国の創業者の強い想いのもと、1974年に日本で初めてがん保険を提供する保険会社として創業しました。以来、この想いを受け継ぎ、日本の社会に根差した保険会社として、約50年にわたり多くのがん罹患者の方を支援しています。 その一環として、全国の自治体と連携し「がんを知る教室」を開催しています。学校をイメージしたがんに関する展示セットで、学科ごとにまとめたがんに関する情報パネルやがんに関する映像、乳がんの自己検診を疑似体験できるコーナーなどで構成されており、全国のショッピングセンター等で開催しています。	
	【取り組みの方向性】 ・働く世代の健康無関心層等への日常の運動量の増加の課題解決に貢献する ・当社研究開発部門やグループ企業と連携し、健康課題解決に向けたソリューションを検討する 【今後検討している取り組み】 ・札幌市内の企業に対する、当社健康ソリューションの提供（アシックスヘルスケアチェック、歩行姿勢測定、健康づくりセミナーの実施など）		アフラックミラー・VRゴーグルなどデジタルキットを活用した健康意識向上に向けた企画についての提案やその他がん啓発関連セミナーやイベントへの協賛を予定。

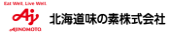
株式会社アークス	サステナビリティ推進室	イオン北海道株式会社	エリア推進部
アークスグループは、北海道・東北・北関東の各地に拠点を置く食品スーパーマーケットグループです。札幌市内にはラルズと柳東光ストア、そしてカインズを運営する株式会社アークスヘルスケアの3社で合計65店舗ございます。 「地域のライフラインとして価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献する」ことを、グループ各社が共有するアークスグループ理念として掲げ、お客様や地域社会との信頼関係が最重要と捉えております。この度、札幌市様をはじめ産学連携や異業種連携をさらに強化することで、店舗網を活用し市民の皆様健康寿命の延伸のお手伝いができればと考えております。		「北海道のヘルス＆ウェルネスを支える企業」になることを経営ビジョンで掲げており市民の「健康」で「楽しい」、豊かな生活をお手伝いいたします。23年11月より当社店舗を利用した健康イベントを開催しており23年度は2回実施しております。また、通年利用できる、ウォーキングコースを市内3店舗で設置して市民に活用頂いております。22年5月より開始しているパラスポーツ体験会は、24年2月末現在で9回開催。今後は当社のみならず様々な方とコラボして健康イベントを定期的に開催していきます。	
	・北海道大学様、札幌市様、ツルハ様、ラルズ、アークスの5社共催によりラルズ店頭における健康チェックイベントを開催 ・2024年は年4回の定期開催として他企業様・NPO法人様による健康セミナーも併催	 イオン北海道株式会社	・パラスポーツ体験会の開催。 ・店舗を活用した「健康イベント」の開催。 ・カゴメ「ベジチェック」導入による野菜摂取量の見える化で健康管理に役立てていただく。 ・今後は他企業と共同で健康イベントを開催できればよいと考えております。

エア・ウォーター北海道株式会社	エア・ウォーターの森準備室	江崎グリコ株式会社	北海道東北エリア支店
エア・ウォーターグループでは、「地球環境」と「ウェルネス」という事業軸のもと、人と環境にやさしいものづくりを通じて、社会に貢献し、地球環境の保全を図り、空気や水などの資源を無駄なく使用、循環させる地球資源循環カンパニーを掲げ、次の世代に住みよい地域と社会の実現を目指し事業展開してきました。これからも「地球環境」「ウェルネス」をテーマに新しい事業をつくり、新たな成長を目指していきます。		Glicoグループは存在意義（パーパス）「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け、社員全員が一丸となって健康経営を推進し、一人ひとりが健康の保持・増進に取り組んでいます。この機会をいただきましたことを感謝し、今後は札幌市と協業で市民のウェルネス向上に貢献してまいります。	
 エア・ウォーター北海道株式会社 自然の恵みと、社会の発展に。	2024年12月、札幌桑園地区にイノベーション施設「エア・ウォーターの森」がオープン予定です。 エア・ウォーターの森では、エア・ウォーターのヘルスケアに係る事業（医療・介護）や、アグリフーズ事業（健康・食事）を軸に産学官民連携のもとウェルネスへ貢献する活動を展開していきます。	 すこやかな毎日、ゆたかな人生	企業とのタイアップで、テーマに基づく勉強会やセミナーの開催を予定しております。

NTTコミュニケーションズ 株式会社 北海道支社	ソリューション営業部門	株式会社NTTデータ北海道	公共ビジネス事業部
・健康や医療等の多様なICTソリューションの提案を通じて、市民の健康寿命を延伸し、心身の健康を支えます。 ・本連携を通じて、同分野のみならず異分野の企業との連携を加速させ、市民のウェルネス向上に貢献します。		当社ビジョンは「オモシロイで未来を変える」です。 「住民接点ソリューション」「健康データ利活用」を通じて、札幌市、企業と連携を強化しながら、市民ひとりひとりがよりウェルネスに興味を持ち、健康データを自分で管理・確認し、ウェルビーイングを実現する社会を目指すことに寄与します。	
	・ドコモグループの健康/教育サービスなど市民のウェルネス向上へ有益な情報を提供します。 ・参加企業との連携により新たな取り組みへチャレンジしていきます ・全国の自治体さまの先進事例を展開します。		・アプリを用いた住民の健康意識向上と健康施策立案に活用する情報収集を目的とした取組 ・データ蓄積の仕組構築支援 ・札幌市様所有の新規・既存データの可視化と課題解決支援 ・DX情報提供、BPR検討支援
大塚製薬株式会社	ニュートラシューティカルズ事業部	小野菜品工業株式会社	プライマリー製品企画部 エリアサポート推進一室
弊社は、疾病の診断から治療までを担う「医療関連事業」と、日々の健康の維持・増進をサポートする「ニュートラシューティカルズ関連事業」の2つのコア事業を中心に、「世界の人々の健康に貢献する」企業を目指して日々活動しており、健康寿命延伸も大きなテーマの1つとなっております。弊社の製品・情報・リソースだけでなく、連携されている企業様・団体様とも協働させていただき、【ウェルネス】の推進に取り組んでまいります。		糖尿病、腎臓病、心不全など生活習慣病の予防、早期発見・早期治療、重症化予防に係る正しい知識の普及啓発や、食事療法・運動療法などの啓発媒体を提供するなど、保健医療福祉関係者を通じて市民の健康寿命の延伸並びに、ウェルビーイングに貢献して参ります。	
	・健康課題（熱中症・朝食欠食・女性の健康・働き世代の食生活等）に対して、製品・協働事業・媒体等を活用した協働の取組み。 ・今後は他の連携企業様（特に生活者との接点の多い企業様）との協働をより深めてまいりたいと考えております。		・地域医療連携システムの推進 ・医療従事者向け自社主催講演会の開催 ・糖尿病連携手帳提出促進立札の設置協力
花王グループカスタマー マーケティング株式会社	ビジネス開発部門 社会コミュニケーション担当	カゴメ株式会社	北海道支店営業推進グループ
弊社におけるSDGs推進担当部門として、関係する多くのステークホルダーの皆様へ「講座開催」を通じた社会貢献活動等を軸とした取組を行っております。 大人からシニア対象の口腔・血流・美容・お家の掃除・お洗濯に関する講座など幅広いコンテンツのご紹介や次世代応援に向けた「はみがき」「環境講座」「就活応援メイク」など幅広い世代に対する講座も実施中。		「健康寿命の延伸」という社会課題解決にむけて、商品販売や健康サービス事業を通じて取り組んで参ります。農業から生産・加工・販売と一貫したバリューチェーンを持つ、世界でもユニークな企業である点が強みです。日本における1日の野菜摂取量目標は350gですが、現状は約290gであり、あと60g足りません。野菜摂取の大切さ、上手な摂り方を啓蒙し、様々な野菜の価値を活かした商品をお届けし、人々の健康に貢献して参ります。	
	・社会課題に対応し役立つ情報の発信 ・企業間連携で「働く世代」への情報提案 ・健康経営に向けた各種企業ニーズに沿ったソリューション提案 ・全ての人が元気で活躍できる為の総合提案		・商品販売だけでなく、野菜摂取量が見える化できる「ベジチェック」やオンラインセミナーといった健康サービス事業を展開 ・自治体における健康増進、法人の健康経営をサポートさせていただきます
株式会社カーブスジャパン	戦略企画部	キュービー株式会社	札幌支店
・全国に「女性だけの30分フィットネス カーブス」を約2000店舗（札幌市内30店舗）展開、80万人の会員さんに通って頂いている。 ・札幌市の30店舗、12,000人の会員さんをベースとし、市からの健康情報のメンバーさんへの周知および周囲への拡散 ・各区と連携した健康イベントの開催、地域での健康啓発		健康は日々の食生活から。キュービーグループはサラダとタマゴを通して、市民の皆さまの健康を応援します。	
	・既存健康イベントへの出展などを計画中 ・札幌市発信の健康情報の案内 ・健康イベントへの講師派遣などが可能 ・各大学や研究機関の先生監修の健康情報冊子などの無償提供も可能		・野菜摂取 及び サラダファーストの啓発 ・体験イベントの実施 「myドレッシング診断」 「ドレッシング試食会」

協和キリン株式会社 札幌支店	支店戦略グループ	サツドラホールディングス㈱ (㈱サツポロドラッグストア)	CEO室インキュベーションチーム
・慢性腎臓病に対する重症化予防について、医療機関と連携して取り組むことで、市民の健康寿命の延伸に繋がっていきたいと思います ・難病等に対する疾病の啓発活動を行ってまいります		ドラッグストア「サツドラ」を道内に約200店舗展開しております。「健康で明るい社会の実現に貢献する」を企業理念、ミッションとしドラッグストア他、調剤薬局、フィットネス事業等の事業運営、そして近年力を入れている地域・自治体連携事業においては、管理栄養士による栄養相談会の開催、ビューティートレーナーによる各種美容講座などを開催し、自社のリソースを活用し北海道の課題解決へ積極的に取組をおこなっております。	
		 ・北海道最大級のドラッグストア主催イベント「サツドラフェス」を例年9月頃開催 ・管理栄養士による各種セミナー、ビューティートレーナーによる美容講座など「美と健康」に関する講師派遣が可能 ・北海道内の複数自治体及び大学と包括連携協定を締結し、地域との連携事業についても実績多数 ・課題解決と事業性の担保を両立させることで一過性ではなく継続を前提とした事業モデルを構築したい	
札幌テレビ放送株式会社	SDGs推進室	サッポロビール株式会社	北海道本部 北海道戦略営業部
「どさんこワイド179」「どさんこワイド朝」をはじめとした自社制作番組を通じて、これからも道民・札幌市民の皆さまにウエルネスや食育などの情報をお届けしてまいります。また皆さまの健康の増進、体力の向上に貢献するために、これらをテーマとしたセミナーの開催やスポーツ中継の編成等にも引き続き務めてまいります。		・「サッポログループ健康創造宣言」を掲げ取り組みを強化、「健康経営優良法人2022」と「ホワイト500」の認定をいただきました。従業員が安心して働ける職場づくりを行っています。 ・健康志向の高まりを受け、世界初となるプリン体ゼロ、糖質ゼロ、人工甘味料ゼロのビールテイスト飲料「極ゼロ」を発売。近年伸長を続けている機能系ビールテイスト市場のさらなる活性化を目指しています。	
			
札幌ヤクルト販売株式会社	広報室	サンスター株式会社	北日本支店
成人・高齢者を対象とした健康セミナー、小中学生・園児を対象とした出前授業を実施しています。今年度は、札幌市内で大人を対象に150回以上、子どもを対象に100回以上実施しました。今後も、幅広い世代に向けて健康意識の向上を図っていきます。また、各行政団体と密に連携を取り、健康イベントの協賛や食育活動を進めていきます。		オーラルケア商品をはじめ、健康食品、スキンケア・ヘアケア、生活用品を通じお客様の健康課題解決に取り組んでいます。そして、人生100年時代、お客様がいつまでも健やかで心豊かな人生を過ごせるよう、お口の健康を起点とした全身の健康増進と、心身ともに健康で快適な生活環境づくりに寄与する製品・サービスを提供し、健康寿命の延伸に貢献することを目指しています。	
			
資生堂ジャパン株式会社	美容戦略部	住友生命保険相互会社	札幌支社・北海道基盤戦略室
資生堂ライフクオリティービューティ活動→「化粧のちから」を通じて、ローカルSDGsの実行、地域コミュニティの活性化を目指し、あらゆる生活者の「自分らしい生活」の実現に向けて取り組んでいます。		「保険事業の健全な運営と発展を通じて、健康長寿社会の実現に貢献する」こと、「誠実な業務遂行および社会・環境課題の解決への取組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献する」ことを掲げており、当該方針に基づき、サステナビリティを重視した経営を推進しています。	
			

生活協同組合コープさっぽろ	医療連携事業部	SOMPOひまわり生命保険株式会社	北海道統括部
コープさっぽろは北海道を拠点にしている地域生協です。合言葉「つなぐ」、「北海道で生きることを誇りと喜びにする」を理念に掲げ、店舗事業、宅配事業の他、共済、物流、エネルギー、旅行等、北海道の組合員の暮らしの向上を目指し主に食をベースにした様々な事業活動を行っています。2023年10月には組合員総数が200万人を突破し、道内世帯加入率も80%を超えました。北海道人口も減少していく中で地域課題を事業で継続的に解決していく組織として、今後も北海道・地域に貢献していきます。		当社は保険本来の機能（Insurance）に、健康を応援する機能（Healthcare）を組み合わせ、お客さまが健康になることを応援する健康応援企業として、従来にない新たな価値「Insurhealth®（インシュアヘルス）」を提供しています。健康増進に向けた各種アプリやサービスを展開しており、日常の健康づくりや認知症をはじめとした予防等について支援しています。	
 【2023年度】 ・健康診断内製化 開始 【2024年度】 ・組合員向け健康診断事業開始（予定） ・特定保健指導の積極対応 【今後の展望】 ・トドックアプリとの連携 ・健診を軸とした「食」との連携 他		 ・各介護予防センターと連携した各種講演や体験、測定会を開催。 ・弊社が有する各アプリやサービスを他企業様が有するコンテンツと組み合わせ、多角的に市民の健康増進についてのアプローチが出来ればと考えています。	
第一生命保険株式会社	札幌総合支社	田辺三菱製薬株式会社	営業推進統括本部 営業推進部 地域連携推進グループ
一人ひとりの価値観が多様化する今、地域に根ざす企業として、万一人の際の「保障」をご提供するだけでなく、「資産形成・承継」「健康・医療」さらには人と人、地域や社会との新しい「つながり・絆」を通じて、お客さまのQOL (Quality of Life)の向上や地域の課題解決に貢献してまいります。		地域医療に向き合うトータルヘルスケアパートナーをめざして、糖尿病等の生活習慣病の発症および重症化予防の取組をサポートすることにより、札幌市民の健康寿命の延伸に貢献してまいります。	
 ・各種セミナー（健康増進・がん予防・金融知識・終活など）を通じて地域の皆さまに情報提供し、予防啓発に取り組んでいます。 ・毎年9月開催「ビジネス商談会」にて地域企業の皆さまの交流促進の場を提供しています（北海道との共催）		 ・糖尿病、慢性腎臓病の発症および重症化予防に係る医療従事者等の連携促進の取組 ・市民に向けた生活習慣病に関する疾患啓発活動 ・保健師、管理栄養士等の保健指導スキルアップに繋がる取組	
株式会社ツルハ	営業推進部	東京海上日動火災保険株式会社	札幌支店
北海道に432店舗、全国に1430店舗を展開（2024年3月15日現在）するドラッグストアチェーンです。地域に愛され、喜ばれる、「日本一のドラッグストアチェーン」を目指して「お客様の生活に豊かさや余裕を提供する」という理念のもと、地域医療の担い手として、より身近で、安心できるサービスをお届けすべく、お客様の視点に立った店づくりを展開しています。北海道の16の自治体と災害協定等を締結しております。札幌市様、企業様と協力し、市民のウェルネス推進に貢献していきたいと考えております。		①持続可能でより良い札幌市の未来の実現に向けた協力 ②健康で快適な市民生活の向上への貢献 ③市民の健康と魅力的なまちづくりへ向けての連携・協力	
 「健康チェックイベント」を開催 「ツルハグリーンウォーク」を開催予定 「ランニングイベント」の開催を計画中		 従来の保険領域である「万が一の際の安心のご提供」に加えまして、「普段使いの健康ソリューション（予防・早期発見・再発予防）」をご提供することで、お客様を平時からお守りできる新たな価値を創出し、ヘルスケア分野における社会課題の解決に貢献を致します。	
TOPPAN株式会社	北海道事業部	日本ハム株式会社	経営企画部北海道プロジェクト
ウォーキングアプリや高齢者ICT支援アプリなどのヘルスケアDXサービスや通いの場立上支援サービスの提供、大学/大学病院との連携による施策立案で市民の健康寿命延伸に取り組めます。認知症の発症/重症化予防では大学に包括連携拠点部門を設置し、共同研究に取り組んでおります。		当社は「たんばく質を、もっと自由に。」をグループビジョンに掲げ、人々の生きる力となるたんばく質の安定供給を通じて社会課題の解決に貢献してまいります。	
 ・健康イベントのコンテンツ作成/運営 ・高齢者のICT化 ・ヘルスケア関連のデータ分析 ・保健師/看護師によるコールセンター事業 ・健康施策や認知症予防施策の立案を目指し、協力企業・団体を探しております。		 ・食育活動として、ウインナー飾り切り教室、手作りウインナー教室、プロスポーツ選手への栄養指導を行っています。 ・商品を通じた健康サポートとして、食物アレルギーケアや減塩、高たんばく低カロリーなども取り組んでいます。	

日本生命保険相互会社	札幌支社	株式会社白寿生科学研究所	
札幌市内中心に約700名在籍する営業職員による健康に関する幅広い情報提供活動を行っており、特にがん検診の受診勧奨に注力しています。 ’23年4月に実施した女子卓球部による卓球教室のような、弊社コーポレートスポーツ選手の派遣によるイベントも実施しています。 また、社内ではウォーキングアプリ「aruku&(あるくと)」を活用したウォーキングイベントを毎年実施しています。		家庭用電位治療器ヘルストロンの宣伝・販売、健康食品の販売を行っているハクジュプラザを全国450店舗、市内には12店舗展開中。地域の健康コミュニティとして、“適度な運動”・“バランスのとれた食事”・“ゆとりある精神”を基本としたウェルネスの情報を提供しています。地域の健康情報発信拠点として、あらゆる世代のウェルネスに貢献していきます。	
	・営業職員による地域の皆様への健康に関する情報提供を実施(ex. がん検診受診勧奨 等) ・自社主催の血管年齢測定等の健康イベントを各営業職員の担当事業所にて通年開催		・自社顧客を中心とした健康セミナー・イベントの開催（2023年10月に開催、400名参加） ・市内介護予防センターとの連携（フレイル・認知症予防等） ・高齢者に対して社会的健康（コミュニティ参画）の重要性を啓蒙啓発に力を入れていく。
ファイザー株式会社		株式会社ファミリーマート	北海道・北東北リージョン
企業目的:患者さんの生活を大きく変えるブレイクスルーを生み出す 事業概要:ファイザーでは、医療用医薬品やワクチンの研究開発、製造、販売を通じて患者さんに貢献しています。		コンビニエンスストア「ファミリーマート」を国内に16513店、札幌市にて151店（7月30日現在）展開しております。コーポレートメッセージとして「あなたとコンビニにファミリーマート」を掲げており、「美味しい嬉しい安心」をテーマに、PB商品ファミマルシリーズを2021年からスタート。好評を頂いており、ラインナップも充実化させています。商品や店舗を通して札幌市の健康寿命延伸に寄与したいと思っています。	
	いきいき健康・福祉フェアやその他の機会を通じて、市民への予防医療の情報発信など		・フードドライブを店舗にて展開。 ・行政との協業推進。「野菜接種強化月間」ポスターの展開とパンフレットの配架。 ・オープンケースにて食育応援の啓蒙。
株式会社ホクノー	本社 ハルスケア・ウェルフェア室	北海道味の素株式会社	家庭用部
厚別区で5店舗のスーパーを経営しておりますが、食料品の販売だけでなく、地域住民の暮らしや健康など生活全般を包括してサポートする取り組みを行っています。 その取組の一環としてスーパーの2階に「ホクノー健康ステーション」を運営し、地域住民のコミュニティの拠点となっています。		私たちは、味の素グループの北海道代表として「食」を通じ、関わる全ての人々の幸せな生活に貢献し続けます。 私たちは、誰よりも北海道を愛し、「道民視点」で付加価値を生み出し提供することで、ここ北海道で愛され、信頼され、必要とされる存在で在り続けます。	
	・ホクノー健康ステーションにおける各種健康イベントの開催。 ・ホクノー健康ステーションの情報コーナーでのチラシやパンフレットの配架。 ・「ホクノー健康ステーションモデル」のスキームの説明、事例紹介などの講演。		・食と運動に関するイベント ・食品量販店と連携した店頭での健康イベント ・自治体と連携した健康増進イベントの協賛
北海道キリンビバレッジ株式会社		北海道コカ・コーラボトリング株式会社	広報・サステナビリティ推進部
当社は、北海道の皆様へ清涼飲料水をお届けしています。きめの細かいマーケティング活動と、地元と密着した営業活動の展開により、『お客様の笑顔づくり』のためにお役立ちできるよう従業員全員で努力しております。 また、コンプライアンスやCSV（共通価値の創造）にも積極的に取り組むことで、社会と環境との調和を図り、北海道の地元企業として『なくてはならない存在』であり続けたいと考えております。		私たちは、昨年創立60周年を迎えた、北海道を事業エリアとする「どさんこ企業」です。「北の大地とともに」をスローガンに掲げ、事業活動を通じて、北海道の魅力を次世代へと継承し、持続可能な社会の実現に貢献することを使命としております。 これからも地域の皆さまや各企業・各団体と連携し、安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくりを目指し、地域の課題解決に向けて幅広い活動を継続してまいります。	
	げんきな免疫プロジェクトとさっぽろウェルネスでのポスター制作と公共施設などへの掲出、啓発活動		・協定を締結している大学での健康セミナーを実施 ・スマートフォン用アプリ「Coke ON」での独自企画を実施予定 ・その他各企業様と連携し、ウェルネスイベント等を実施

北海道新聞社	営業局
「あなたとつくる 北海道の未来」をスローガンに、北海道新聞や北海道新聞デジタル、各種イベントなど「紙とデジタルとリアル」を通じて北海道・札幌の健康づくりに貢献していきます。	
	・自社発行媒体でのウェルネス関連情報発信。 ・ほっかいどう大運動会、北海道マラソンなどを運営し、企業・市民の健康づくりを応援。 ・本社の創成イースト移転や大札幌パートナーズ加盟を期に、街歩きを軸とした札幌中心街活性化イベントを検討中。

北海道文化放送株式会社	経営管理局経営企画部
「みんなテレ」「発見！タカトシランド」など、地元根ざした番組を制作しています。「みんなテレ」は、働くママをメインターゲットとして、日々の生活や育児、家事などに毎日全力で頑張るママに寄り添いたいという思いで番組を作っています。番組を通して、北海道で暮らす全ての人の心と体の健康に寄与するテレビ局でありたいと願っています。	
	・「夢応援塾」は北海道の子どもたちにスポーツ体験を通じて夢を育む機会を創るためのジュニアスポーツプロジェクトです。ジュニアスポーツを応援し、地域を盛り上げる貢献活動を通じて、地域の豊かな環境作りを目指します。 ・「北海道マラソン」「北海道meijiカップゴルフ」「北海道米そり選手権」といったスポーツイベントを通して皆さんの健康作りを応援します。

ミズノ株式会社	北日本営業部
スポーツの力で働く人を笑顔に、社会を元気に。いま、市民、従業員の健康が、市政に経営にも効果をもたらすという健康寿網の延伸・健康経営の考え方が、広がっています。健やかな心身で働き続けることは、労働生産性の向上などに直結する大切な要素であり、また長期的には健康保険料の負担削減につながるとも言われ、積極的に健康づくりに取り組みことが求められています。ミズノは健康づくりプログラムやスポーツの機会をご提案、またスポーツで培ったさまざまなソリューションをご提供することで、みなさまを笑顔に・元気にいたします！	
	ミズノはスポーツの力を通じて、自治体の課題解決、企業の健康経営の課題解決をサポートいたします。スポーツで培った見地から、全国各所の体育施設で実施している子どもからシニアの方々へ多彩なオリジナルの運動プログラムを活用して地域を健康に笑顔にしていまいます。

株式会社 明治	北日本支社 企画部 食育・エリアマーケティング2課
当社は赤ちゃんからお年寄りまであらゆる世代のお客様に向けて、粉ミルク、牛乳・乳製品、菓子、スポーツ栄養、流動食など幅広い商品を提供しています。「食と健康のプロフェッショナル」として、食のおいしさ・楽しさ・心身両面での健康価値の提供を通じて、お客様の生活充実に貢献していきます。	
	「健康な食生活」や「乳・カカオ豆を中心とした素材」をテーマに、ココロとカラダの健康を目指して食育活動を推進しています。また、トッパスリートへの栄養指導経験を活用したスポーツ栄養セミナーなども実施しており、幅広いテーマ・年代に向けた講師派遣が可能です。

明治安田生命保険相互会社	札幌支社
健康増進を応援する「みんなの健活プロジェクト」、豊かな地域づくりへの貢献をめざす「地元の元気プロジェクト」これらを通じ、地域のみなさまと協働し、地域の発展に貢献することを掲げて活動を行なっています。	
	・自社主催で他企業とも連携したウォーキングイベント（7・10月）を開催 ・健康増進に係るイベント（大人の塗り絵コンクール、血管年齢測定など） ・定期講座など実施 ・健康と地域創生を軸に、企業・団体とも協働して、活動の幅を広げてまいります

森永乳業北海道株式会社	地域包括連携プロジェクト
森永乳業グループは、1925年より北海道にて事業を開始し、2010年以降は現地法人として森永乳業北海道株式会社を設立することで、地域のみなさまとのより深い共生を図ってまいりました。直近では、健康増進や子育て支援に関連するイベントへの協賛や出展のほか、献血、清掃活動など、幅広い地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。	
	【取組計画】 1. 小学生向け親子料理教室 2. 専門医によるセミナー実施 3. 他企業様との協働取組（イベント出展） 4. 啓発品の提供 【取組みたい方向性】 ・協定締結パートナーと連携した協働取組み

雪印メグミルク株式会社	北海道本部
<乳（ミルク）による食と健康への貢献> 乳（ミルク）を通じて健康寿命延伸に貢献する研究開発、商品開発、サービス提供、情報発信を行う。 ・学会での研究発表及び論文を学術雑誌に掲載。 ・消費者の骨への関心度向上を目的に関連サイト、情報発信等実施。	
	・札幌市への寄附事業「スポーツ振興寄付金」の活用によるスポーツイベントの開催。 ・札幌市の学校、栄養士会などに講師の派遣。 ・各区健康増進イベント協賛（骨の健康チェック、講演、ロングライフ牛乳の提供） ・小学生を対象に食育プログラム（出前授業）の実施。

ライオン株式会社	札幌オフィス総務室
オーラルケア商品をはじめとして洗剤、薬品等の多岐にわたる商品の製造販売及び海外現地会社への輸出を行っています。これらの商品は日々の生活の中で消費者の健康を支える役割を果たしています。又、環境に配慮した商品開発を進める事で、健全な地球環境が人々の健康を支えることに貢献していきます。	
	・小学生歯みがき大会の実施（毎年6月） ・口腔衛生全般に関する情報小冊子作成 ・自社製品の試供品提供 ・札幌市歯科口腔保健推進条例との連携検討

株式会社良品計画	北海道事業部
無印良品を札幌市内で10店舗展開しております。我々は、「人と人、人と自然、人と社会をつなぐプラットフォームでありたいと考えております。」高齢化が進み、健康への感心と不安が増している社会の中で、健康に関する取組を気軽に実践できたり考えたりできる活動を通して、市民の皆様のウェルネスへの貢献を目指して参ります。	
無印良品	・ウォーキングを軸としたイベントの開催 ・健康に関するセミナーの開催 ・市や区の発信する情報の配架協力

株式会社ルネサンス	スポーツクラブルネサンス アリオ札幌/札幌平岸
市内に2店舗あるスポーツクラブ運営を軸として、地域の皆様の健康づくりのため「運動」環境を提供し、ウェルネスを高めてまいります（ジム、プール、テニスコート、風呂・サウナなど）。また、店舗運営のみならず、近隣自治体・企業に対し、働く世代～高齢者までの幅広い層を対象とした健康づくりセミナーを実施いたします。	
	・市内2店舗での情報発信や、指導者の派遣（運動・脳トレ等さまざま）が可能。 ・施設を開放してのイベント開催などもご相談ください。 ・学校水泳に関わるコーチ派遣や部活動の地域移行に関わるトレーナーの派遣など、若者世代への協力もできればと考えています。

株式会社ローソン	北海道カンパニー
ローソンは、グループ理念「私たちはみんなと暮らすマチを幸せにします」のもと、「圧倒的な美味しさ」「人への優しさ」「地球（マチ）への優しさ」を事業方針の「3つの約束」としています。お客様の身近なコンビニエンスストアだからこそできる、健康で長寿な暮らしをサポートするため商品の開発・販売に当たっては健康に配慮しながら「よりおいしいもの」を目指しています。	
LAWSON	・健康に配慮した商品開発を進めています。 ・どの栄養素が含まれるか商品パッケージデザインをわかりやすく工夫しています。 ・各地で店舗駐車場を検診場所として提供しています。

スポーツのチカラ×まちのミライ	
	
スポーツが持つチカラ「心と身体の健康づくり」、「生きがいづくり」、「子どもの健全育成」、「経済活性化」、「地域コミュニティの振興」そして「夢や希望や勇気を与える」などのまちづくりに欠かせない力を活用し、プロスポーツチームや民放テレビラジオ局と一体となって「スポーツによるまちづくり」を目指します。	

株式会社コンサドーレ	株式会社まちのミライ
スポーツによるエンターテインメント、アクティビティを軸に、パートナー企業・サポーターを始めとする北海道に関わる人々への活気あふれる生活の提案や、北海道の発展に貢献していきたいと思えます。新会社「株式会社まちのミライ」は、コンサドーレでの経験やノウハウを活かしながら、人々の自己肯定感の創出や関係人口の増加、健康寿命の延伸、産業の活性化などを目指します。そのために＜ウェルネス・共生・活性化＞をテーマに、北海道全域を盛り上げる多彩な取り組みを実施していきます。	
	「スポーツのチカラ×まちのミライ」の目的に則り、スポーツ興行、サッカー・バドミントン・カーリング等を活用したスポーツ教室、ホームゲームの就労支援や新生児へのスタイ配布等、「健康づくり・生きがいづくり・経済活性化・子どもの健全育成・地域コミュニティの振興 等」を重点に活動をしています。

株式会社北海道イエロースターズ	広報部
当チームは、今季からチーム名等を新たに始動。プロバレーボールチームの特徴を生かしながら健康運動の推進や企画に参加するとともに、「地域密着型」のスポーツチームとして地域の発展に貢献をしていきます。	
	札幌市・札幌市立大学主催のイベント（7月）に選手が参加し、子どもの身体活動促進を行った。今後も、選手と市民との交流を通じて、活動に参加していきます。

株式会社レバンガ北海道	営業部
プロバスケットボールの試合観戦や応援を通じて、生きがい創出や趣味充実などウェルビーイングへの寄与に貢献したいと考えています。また定期的に小学校へのボール寄贈や選手による学校訪問、子どもたちを対象とした試合招待等を行い、育成年代におけるスポーツ振興や健康増進の機会創出を目指しています。その他、地域のお祭りやイベントにも積極的に参加するなど、地域密着型プロスポーツクラブとして活動を続けています。	
	今後も小学校へのバスケットボール寄贈や、選手による学校訪問、バスケ教室の開催などを予定。昨年度からは専属チアダンスチームによるダンス教室なども開催するなど、プロバスケットチームが持つリソースを最大限に活用して、地域や企業の皆さまとの交流を深めたいと思っています。



「さっぽろ圏スマートアプリ」では、ヘルスケアやスタンプラリーなどの機能を拡張しながら、属性（性別・年齢）や活動量（歩数、取組参加）と、アンケートを結び付け、市民の傾向やニーズなどの特性分析、より効果的な取組・サービスなどの創出につなげます

《ヘルスケア・企業対抗歩数競争》



目標歩数：8,000歩までの達成状況を確認

日々の体重や血圧が記録可能
歩数・体重・距離はグラフでも表示

企業内や、年代、性別のほか、
企業対抗ランキングを実施！



ランキング表示にて動機づけ、
社内交流促進にも寄与



企業ランキング参加・実施の流れ



参加希望企業は、アプリ記載の
メールアドレスから申込



札幌市にて企業情報を登録し、
参加コードを発行



お知らせにて途中報告も可能！

企業担当者から、参加者にコードを
通知し、参加者はアプリから
コードを入力して参加！



期間終了後は、実績に応じ
てインセンティブ付与！

2024年2月版! SAPPORO・ウォークチャレンジ
～企業や団体で参加して、まち全体で「ウェルネス」に～
市民一人ひとりが元気に楽しく毎日を送ることは、まち全体の活力にもつながります。
いつもの「歩く」を少し伸ばして、元気な明日へ！
札幌市では、「ウェルネス 何スル？」を合言葉に、健康につながる様々な取組を進めています！

エントリー期間 令和6年1月22日（月）～
チャレンジ期間 令和6年2月1日（木）～2月29日（木）
チャレンジ項目 ①1か月の平均歩数部門 ②参加数部門
※10名以上の参加が必要
※対象：札幌市内に事業所等がある企業・団体等の従業員・ご家族、市内へ通勤されている方に限ります。（市外在住でも可）

参加企業・団体の一覧
各ランキングはHPに掲載！
企業コード
《●●社》
【●●●●●●●●●●】

《参加方法》※「ヘルスケア」機能のご利用には、iOSはヘルスケアと、AndroidはGoogle Fitとの連携が必要です（初回連携時に連携を許可）

①「さっぽろ圏スマートアプリ」インストール
②アプリを起動し、「新規登録」から登録
③「ヘルスケア」を選択し、プライバシー設定画面で各項目を「OK」に設定（※初回起動時のみ）
④「今月のランキング」選択
⑤「グループに参加する」選択後の画面にて、上記企業コードを入力

さっぽろ圏スマートアプリでは、生活に関連する情報発信など、機能を拡張していきます！
★チャレンジ項目上位を毎週通知！
★歩数/参加者数の各上位3企業には、コカ・コーラ公式アプリ【Coke ON】無料ドリンクチケットをプレゼント！
1位：50名様
2位：30名様
3位：20名様
（参加者数が増える場合は抽選で配布）

2023年11月版
《歩数部門》 大塚製薬㈱
《人数部門》 明治生命保険(株)
北海道コカ・コーラボトリング(株)

※歩数は、「ヘルスケア」を稼くことで更新されます

「グループ対抗ランキング」で順位を確認！

【主催・問合わせ先】札幌市保健所ウェルネス推進担当
wellness@city.sapporo.jp
ウェルネス、何スル？【協賛】北海道コカ・コーラボトリング株式会社

《スタンプラリー》



事前に設定したチェックインポイントに、GPSまたはGPS+QRコード読取でチェックイン



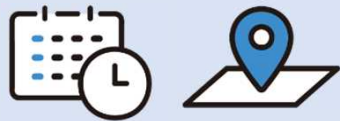
アプリ内地図で拠点を確認して、参加！



- ◎ 「イオンモールウォーク」の場合
- ① モール内にポイントを設定
 - ② 各拠点の説明文を設定
(例：健康まめ知識)
 - ③ 施設内にQRを設置
 - ④ 施設及びアプリで周知
 - ⑤ 達成者に抽選でインセンティブ
(例：コーク・オンチケット)



スタンプラリーの流れ



チェックイン拠点・拠点紹介文・実施期間等を設定



QR読取でのチェックインを行う場合はQRの張り出し



スタンプラリー開催！
※お知らせ機能で周知！



期間終了後は、チェックイン実績データで確認、必要に応じてインセンティブ付与！

《お知らせ》



アプリユーザーに対して、プッシュ通知などで、情報発信が可能

《アンケート》



任意のアンケートを設定し、ID連携でアンケート対象の設定やクロス分析も可能

《健康役立ち情報》



札幌市サイトに誘導し、イベントやコラムなど、情報発信

《WEBリンク》



「えきバスナビ」など、他のサービスやサイトへのアクセス可能